

町河岸江 建札いたし候場所を限可申儀にも可有之哉、依之評議仕候處

御定書

一 江戸拂 品川板橋
千住本所深川
四ッ谷大木戸 より内

右之通有之科條類典元例をも相糺候處、寛延元辰年二月、江戸拂御仕置之儀、本所深川町奉行支配限、構之地ニ可申付旨、御定書ニ書入可申段、被仰出候御書付之趣を以、相極り候旨有之候、
倒死人、永死、其外變死、迷子等有之候節者、所より訴出次第、年頃并衣類等之品認芝口町河岸建札可致旨之御定ケ條ニ、

一 南ハ品川より長峯六間茶屋町限

一 西ハ代々木村上落合村板橋限

一 北ハ下板橋村王子川尾久川限

一 東ハ木下川村川通中川通八郎右衛門新田村限

右兩様之御定、透見合、建札之ヶ所大概江戸拂御構場所ニ相當り候得共、建札之ヶ所を限り候内にハ、町奉行支配外、御料私領寺社領之村方も少々ハ入交、有之、御定書目安裏書初判之ヶ條ニ、

一 寺社云云

一 江戸町中云云

一 關八州云云

右ニ見合候御定、御府内ハ町奉行支配場と相見候處、前書之通、芝口建札之ヶ所を限候内ニハ、御料私領寺社領之村方も籠り有之候ニ付、右を御府内トハ難決然上者、江戸拂御構場所者、町奉行支配場限之元例も御座候間、右御構場所同様品川板橋、千住本所、深川、四谷大木戸より内を御府内ト相心得可申候哉、奉伺候、